

第78回卒業証書授与式

「第78回卒業証書授与式」を3月7日（金）に本校体育館で行いました。当日は天候にも恵まれ、中村八代市長をはじめ、多くの来賓や保護者の方々にご臨席いただき、235名の卒業を祝うことができました。卒業証書を受け取り、多くの皆様からお祝いの言葉をいただいた後、在校生代表答辞を生徒会長の出崎涼真さんが、卒業生答辞を前生徒会長の松本優里菜さんが行いました。思い出の詰まった送辞と答辞に、涙する卒業生の姿もありました。式終了後、3年生全員による「友～旅立ちの時～」の合唱があり、更に胸が熱くなりました。

式終了後、各クラスで最後の学活が行われました。学活終了時刻が近づくと、突然、全クラスの生徒がベランダに出てきて、職員室に向けて感謝のメッセージを送ってくれました。大きな垂れ幕が用意されていて、職員一同、とても驚かされました。素敵なサプライズプレゼント、ありがとうございました。

卒業生の最後の1年間を簡単に振り返ってみます。

6月に行われた八代中体連では9本の優勝旗を持ち帰り、男女卓球、陸上、空手、バドミントンは九州大会に出場することができました。文化部の吹奏楽部も、マーチングコンテストで九州大会へ出場するなど、部活動も充実した1年となりました。

学校行事では、体育大会での頑張りが目を引きました。表現運動のダンスでは、学級ごとに創作パートを考え、体全体を使って表現してくれました。団体種目では、運動会の定番である“綱引き”を行い、クラスの名誉をかけた凄まじいバトルが展開されました。勝ったクラスは飛び跳ねて喜び、お互いハイタッチする姿が、とても印象に残っています。応援合戦では、猛暑の中、時間をかけて練習してきた“演舞”を団ごとに披露し、体育大会に花を添えました。最後の決めのポーズは、どの団もバッチリ決まっていました。

合唱コンクールは、桜十字ホールで行われ、見事な歌声を披露してくれました。ピアノ、指揮、歌、どれをとっても、3年生の出来映えは見事で、一中の伝統的行事の素晴らしさを実感しました。

文化祭では、モザイクアートの作品展示、創作劇である「それぞれの夢に向かって」の発表、有志によるステージ発表などを行い、文化的行事も盛り上げてくれました。

1・2年生の良き見本として、伝統ある一中をリードしてくれた卒業生の皆さん、“一中プライド”を忘れず、次のステージで頑張ってください。

